

平成 23 年度苗木、落合、神坂、馬籠地区女性懇談会議事録

開催日時	平成 23 年 11 月 17 日（木曜日） 14 時 00 分～16 時 00 分
開催場所	馬籠ふるさと学校 交流室
出席者	市民：36名（神坂 11 名、馬籠 8 名、落合 7 名、苗木 10 名）
	行政：大山市長、林出先統括官、末木山口総合事務所長、佐藤苗木事務所長、工藤落合事務所長、青山神坂事務所長、伊藤広報公聴課長、 〔同席者〕 苗木事務所、落合事務所、神坂事務所、山口総合事務所、広報広聴課、秘書課、進捗管理課

■ 司会者（神坂 ●●さん）

ただ今より、平成 23 年度苗木、落合、神坂、川上地区女性懇談会を開催いたします。

■ 市長あいさつの概要

- ・この地区は、大変な騒動のあった昭和 33 年と平成の合併という歴史があり、対立はよくないというところである。
- ・市政の混乱の中で、財政が大丈夫かということがある。
- ・合併後 10 年間に、その後の市というものを描き組み立てていく必要がある。
- ・合併後 10 年から 15 年後にかけて交付税が 35 億円減額されることから、合併協議では 10 年をかけて職員数を 850 人にする計画であったが 6 年で達成し、人件費で 16 億円減少させた。
- ・削減した 16 億円の半分は、中学校までの医療費無料化・インフルエンザ予防接種の中学生までの 1,500 円実施への補助・医師保健師の確保の新規サービスに、残りは借金の返済に充てていて、6 年間で 193 億円減らした。
- ・県下、合併 5 市中借金縮減率 2 番目、職員削減率は 3 番目であるが、学校耐震化・光ファイバー網設置・U ターン I ターン住宅等事業をしながら借金を減らしている。
- ・医師の確保について、お金をかければ確保できるのではなく大学の人事によるものであり、東濃 5 市の中ではダントツに多い状況にある。また、将来に向けて医師看護師確保のために奨励金など環境整備を含めてやっている。
- ・市民の不安とか心配ごとをできるだけ無くすような形で市政の行政運営をしている。

■ 自己紹介

■ 司会者（神坂 ●●さん）

■ 進捗状況報告

■懇談 進行 (神坂 ●●さん)

ただいまから懇談会に入りますが、発言がある方は挙手をさせていただき、指名されたら地区名と氏名を言って発言してください。

発言者	発言要旨	対応者	対応 (回答) の内容
〔落合〕 ●●さん	(街頭消火器の維持管理) ・街頭消火器の設置について、入れ物の表示もすれて見えにくくなり、設置されている事態を知らない住民が多い。 ・火事を見つけたら利用することが大切で、入れ物をきれいにし、はっきりとわかるようにしていただくと、落合の街も明るくなる。	市長	<ul style="list-style-type: none"> 消化機器については、合併後旧町村ともまちまちな所があり、どういうあり方がいいか検討させていただく。 街頭消火器について調べてから、全体的にどういう形で住民に消火活動に加わっていただくか自主防災会とも相談し、機器はどうするか更新、詰め替え等をしっかりやっていきたい。 汚いとか使えない、あるいは知らない状態は不都合なので、自主防災会と一緒に取組をする。
〔馬籠〕 ●●さん	(神坂スマートインターチェンジの工事・開通) ・神坂スマートインターチェンジ予定地の脇に神坂小学校があるので、工事中あるいは開通後、交通量が増えることから交通安全対策をお伺いしたい。	市長	<ul style="list-style-type: none"> 交通の環境が変化するので観光客が横断するところなどはバイパスにするなど安全面に十分配慮する必要がある。 地権者の了解が得られていないが、了解が得られると国・ネクスト中日本は障害が無い状態になっている。 バイパスを含め歩道設置、通学路との兼合いなどしっかりと組み立てて開通する時は整備された状態に持つていくために県・地元・PTAとも調整してやっていく。 スマートインターには、観光だけでなく働き場所の展開要素があり、人口減少を食い止めることにも繋がるので、市としても提案を積極的に取り組むので、一緒になってやっていきたい。
〔神坂〕 ●●さん	(福祉バス) ・年寄りの貴重な交通手段であり、火・金曜日の一日2本の運行で待ち時間が多いので、昼頃にもう1本増やして欲しい。	市長	<ul style="list-style-type: none"> 神坂はコミュニティバスでやっている。 福岡と阿木は運転をボランティアの要素で互助交通で取り組んでいて、費用を抑えながらサービスをあげる仕組みづくりということでやっている。 阿木では福祉関係のNPOでやっているなので、参考にしながら全体的に広く広げるために費用がかからない運営を目指し、年寄りの足確保・高校生などの交通弱者も視野に入れ組み立てていく必要がある。 大事な分野という考え方で取組を強化し、しっかりと取り組んでいく。 福岡とか阿木でやっていることを伝えたい。

<p>[苗木] ●●さん</p>	<p>(ケヤキ平の管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケヤキ平で子供たちの活動をやっているが、キャンプ場も無くなり管理人がいなくなってトイレ掃除からやっているが、秋に行ったら汚れて詰まっていた。他県の人を使うのに今の状況では残念である。 ・いい森だし、よい観光資源なので大切な自然を守っていききたいと思うので、トイレくらい管理できないか。 ・ケヤキ平として、緑地の利用についてはこれからも市民として使えるのか。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・恵那山のトイレは山岳会が面倒を見てくれて日本一だと聞いている。 ・設置は1回で済むが管理が大事なので、電気・水が確保できれば、設置に金がかかるかもしれないが自動的に水がシャワーのように出て掃除する形式のトイレを研究していかなくてはいけない。 ・観光地という捉え方で、予算とも相談しながら中津川市のイメージを損なわないような形に持っていく、他所から来る人が多いところは配慮しながらやりたい。答えを持ち合わせていないので、希望を聞かせていただいて後日お答えしたい。 ・リニアモーターの話が16年先あり、ケヤキ平・根ノ上高原とかを首都圏の人たち認識していただき、夏の合宿等に活用してもらえる展開になるような形に組立てを計画的に長い目で見てやっていきたい。
<p>●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理人がいたのがなくなったのは、厳しい中で切ったということか。 	<p>神坂事務所長</p> <p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政評価委員会でスクラップか民間での運営が提言され、観光課がツリーライミング・自然愛好家等に依頼したが断われ、予算査定維持に利用者が少なく収入に対して支出が多いことから22年度から試行的に休止として予算カットになったと聞いている。 ・民間で受け入れ団体があれば貸付を検討したい。地元で管理してくれれば協議し検討する回答をいただいている。 ・今の話はリニアがない状態での話なので、根ノ上・ケヤキ平・夜明けの森などをもう少し磨いて16年後を迎える場所になるのでは。 ・高峰のウォーキングルートは魅力ある所なので、ベンチ・トイレとかを整備し、維持管理がしやすい自動的に掃除するトイレ、太陽光発電とか雨水タンクを作るとか、最初はお金がかかるがきれいなトイレが利用できることがお客が来る要素に繋がるので、そんな考え方で組み立てたい。

<p>〔神坂〕 ●●さん</p>	<p>(道路修繕と富士見台から阿智村までの通行について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別荘地から志村宅・下島から霧が原線の舗装を直して欲しい。 ・広済寮・神坂峠・富士見台への車がなくなったので、2台通り抜けできるようにならないか。 <p>・阿智村まで車で通行できると、神坂の活性化につながり災害時の交通手段にもなるが、道が出来ないか。</p>	<p>市長</p> <p>神坂事務所長</p> <p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月議会で2億円補正して舗装費を確保し、事務所長の目を見て出先オリジナルの情報で事務所判断でやる仕組みに変えている。 ・水が出て法面が崩れやすく凍りやすいところは基盤整備と相談してもらいたい。幅の狭いところも課題として十分ある。 ・霧が原の課題は道路と簡易水道で、辺地計画で辺地債を使うのが一番よい。 ・区長さんとのやり取りの中で、水源の手当てなど市として調査して方向性を出して辺地計画でやっていくと言っている。 ・道路は全部一度に出来ないので、待避所を計画的に入れ交通量が増えたら全体的に幅を広げるといった段階を踏んでやりたいので、地主さんの協力を得るため区長さんと相談して計画を作ってやっていきたい。 <p>今年、3箇所予定して順番にやる計画でいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿智村にあたってみるが、林道であることから長野県側の森林監理署に阿智村からあたってもらう必要がある。
<p>〔馬籠〕 ●●さん</p>	<p>(馬籠に消防署を)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬籠は所轄の消防署から一番遠く時間がかかり、恵那山トンネルでは車両火災が多く発生している。馬籠は観光地という点も兼ね合わせて消防署が出来ないか。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・椿街道が25年3月に開通すると、坂下から来易くなる。出先の事務所と消防署が一箇所にならないかとの提案もあるので、そうなるといやさか橋から直で来る形で距離も短くなるので、その辺も考慮しながら出先の消防の出張所があるのかどうか再確認してみたい。 ・馬籠は住んでいる人だけでなく観光客の安全という防災面の話で、火事・地震・大雨のときに安全に泊まっただけの取組は区からも話をいただいているので検討したい。

<p>[苗木] ●●さん</p>	<p>(放課後のグラウンド開放)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童保育以外の子供たちが放課後の場所が無く、グラウンドを早く追い出され児童館も無くて子供たちが体を伸び伸びと動かせる場所が無いので、コンビニにたむろし、近所に迷惑をかけることに繋がる。将来を担う子供達が放課後安心して過ごせる場所が無いので、グラウンドを開放してもらえないか。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 放課後空いている教室もあることから、ルールを決めて開放することを教育委員会事務局に言って、学校現場へ投げかけると否定的な返事が返ってくるので、私からも言いますが皆さんから声を上げてもらいたい。 学童保育については、放課後をどう過ごすかは児童館でも学童保育でも同じではないかということで、教育委員会へ移したが今までどおりの縦割り行政になっていると思うので、変えていかなければいけない。 学童保育は学校を使う場合と使えないと借上料を払って民家を借りる形になるので、統一する必要がある。学童が放課後どう過ごすか統一的な考え方の中でやって欲しいと言いつけるので、皆さんも声を上げて欲しいし、学校の抵抗があっても何とか理解してもらいながらやりたい。
<p>[落合] ●●さん</p>	<p>(AED の設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> 24 時間対応のコンビニのような、身近な施設に AED を設置してもらえないか。防災安全会から中津地区深夜スーパー連絡協議会に話をしてもよい返事してもらえないので、安心して暮らせるよう働きかけを強くしてもらいたいし、設置の方法も考えていただきたい。 	<p>落合事務局長 市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活安全課から全市対象にできないか深夜スーパーの協議会へ申し入れをしているが実現していないのが現実で、なぜ出来ないかということは認識していない。 誰と誰のやり取りで、組織として断われたのか、どういう理由で断われたのかをあたり、もう一押しする余地もあるのではないかと。 コンビニにあるとわかり易いので、どんなやり取りでそうなったかあたってみたい。 中津川市役所としても費用を用意してもやっていく価値はあるので、外の市でやっていたら中津川方式というような形でやっていけばよい。

<p>〔苗木〕 ●●さん</p>	<p>(苗木保育園の木製遊具の修繕)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供達に人気の遊具が、先月の安全点検で老朽化して安全が保障できなくなったことから使用禁止となっています。来年度の予算で修理を考えていると聞きますが、小さな子が遊べる遊具が無くなってしまっているの、早く修理に取り掛かって欲しい。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 点検と修繕の予算はセットで取っていると思うが、12月の補正でないと早くても3月補正となる。 痛み具合とか使用頻度で待てない部分とどう組み合わせるか、修理にそんなに大きな金がいると感じないので、システムの組み立てから問いかけたい。 苗木保育園は個別案件として出来るだけ早い結論が出るようにしたいので、所長もちゃんと注意するようしておいて、教育委員会事務局と保育園の話になる。
<p>〔落合〕 ●●さん</p>	<p>(地域統括の仕事と民生委員と行政の繋がり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 統括官は具体的にどんなことをやっていただけるのか。 旧中津川市内は民生委員と連携していないが、他市では命のバトンリレーとかを全市でやっているが、予算がないと行政と繋がっていないところは全部自分達でやらなくてはいけないが、地域の課題などどこまでやっていただけるのか。 	<p>出先統括官</p> <p>市長</p> <p>出先統括官</p> <p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題を本庁につないだり所長と一緒に情報を集めたりして、地域と本庁の調整をとるのが中心となる。 基本的には事務所で即断即決してやっていける体制と予算付けをして権限をもたせることを考えている。共通する地域の課題は所長会で方向を決め、本庁の各課と対立したときは事務所の味方として各課を説得する役割を持っている。 坂本では民生委員協議会坂本支部が地域事務所と一緒にあって、毎月会合を開いて連携をとっている。 命のバトンは全市で進める話になっていないと聞いているが、調べてどういう支援が出来るか事務所長とも相談しながらやっていきたい。 蛭川では、社会福祉協議会が民生委員と一緒にあって命のバトンの提供を展開していて、予算は社協で配布・依頼・説明は民生委員が動いているので、状況を調べて知らせたい。 命のバトンが進まないのは予算と人だと思っているので、本庁でなく出先の事務所長が方向性を出していく形で始めたいので、出先の事務所を相手としてやっていただきたい。 中津事務所を新設し、旧町村と旧中津川は出来るだけ横並びにして、事務所が地元の皆さんとのやり取りで物事が解決できる体制にしたい

■市長総括の概要

- ・言いつ放し、聞きっぱなしにしないということをモットーにやっていきたい。
- ・女性の視点での要望や声をいただきながら市政を進めることが大事であることから女性懇談会を開かせてもらっている。
- ・出先事務所と皆さんにやり取りをさせていただきながらお力もいただき、一緒に解決していくことも必要になる。
- ・相談に乗っていただくとかお力を貸していただく形で即断即決で解決できる形にしたい。

■閉会の言葉 （苗木 ●●さん）

以上を持ちまして女性懇談会を終了させていただきます。 [終了]